

平成22年8月27日

社会保険労務士試験の試験問題誤りについて

平成22年8月22日(日)に実施しました第42回社会保険労務士試験において、下記1のとおり試験問題に誤りがありました。

該当する問題の採点に当たっては、受験者の不利益にならないよう下記2の措置が講じられることとなります。

受験者の方々にご迷惑をお掛けしたことを深くお詫びするとともに、今後、厚生労働省、試験委員及び全国社会保険労務士会連合会において対策を検討し、再発防止に努めて参りますので、何卒ご理解いただきますようお願い致します。

記

1 試験問題の誤り

- (1) 択一式試験問題「健康保険法」の問2について、誤った選択肢について択一すべきところ、本来正答とされるべき選択肢(D)が正しい内容のものであったため、正答なしとなった。
- (2) 択一式試験問題「厚生年金保険法」の問10について、誤った選択肢について択一すべきところ、本来正答とされるべき選択肢(B)以外にも選択肢(A)が誤った内容のものであったため、選択肢(A)及び(B)が正答となった。
- (3) 択一式試験問題「国民年金法」の問7について、誤った選択肢について択一すべきところ、本来正答とされるべき選択肢(C)以外にも選択肢(E)が誤った内容のものであったため、選択肢(C)及び(E)が正答となった。
- (4) 択一式試験問題「国民年金法」の問10について、正しい選択肢について択一すべきところ、本来正答とされるべき選択肢(A)が誤った内容のものであったため、正答なしとなった。

2 受験者に対する措置

上記1(1)及び(4)に該当する問題の採点に当たっては、全員正解とし、(2)及び(3)に該当する問題の採点に当たっては、該当する2つの選択肢を正解とする。